

日本政治論Ⅱ

科目ナンバリング POL-204
選択 2単位

山口 航

1. 授業の概要(ねらい)

この講義では、1960年代以降の時期に焦点を合わせ、日米関係を中心に、現代日本政治・外交の展開を論じていく。政治・外交の基本的なしくみや今日的な課題などを幅広く学ぶ。

2. 授業の到達目標

- 1) 現代日本政治における基本的な知識を有し、幅広い教養と倫理観を身につけて、論点を把握することができる。
- 2) 現代日本政治に関して、多様な問題の本質を分析することができる。
- 3) 現代日本政治の諸問題をより深く理解することができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- 1) 平常点 30%(コメントなど)
- 2) ブック・レポート 20%
- 3) 期末試験 50%(授業内で解説。理解度、論理性、体裁の観点から評価する)

4. 教科書・参考文献

教科書

畠山圭一編 『テキスト日米関係論——比較・歴史・現状』 ミネルヴァ書房、2022年

筒井清忠編 『昭和史講義【戦後篇】』下 ちくま新書、2020年

参考文献

佐藤史郎・川名晋史・上野友也・齊藤孝祐編 『日本外交の論点』 法律文化社、2018年

5. 準備学修の内容

テキストの該当箇所を読むこと。

より深く学びたい人は、参考文献(適宜授業中に紹介する)も読むこと。

継続してニュースに接する習慣を身につけること。

6. その他履修上の注意事項

ノートをしっかり取ること。

日本政治論Iも受講すると理解が深まる。

受講者の関心や社会の情勢に合わせて、授業計画の変更もあり得る。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 池田勇人内閣前期(オンライン授業の予定) |
| 【第3回】 | 池田勇人内閣後期 |
| 【第4回】 | 佐藤栄作内閣前期 |
| 【第5回】 | 佐藤栄作内閣後期 |
| 【第6回】 | 田中角栄内閣前期 |
| 【第7回】 | 田中角栄内閣後期 |
| 【第8回】 | 三木武夫内閣前期 |
| 【第9回】 | 三木武夫内閣後期 |
| 【第10回】 | 福田赳夫内閣前期 |
| 【第11回】 | 福田赳夫内閣後期 |
| 【第12回】 | 大平正芳内閣 |
| 【第13回】 | 鈴木善幸内閣 |
| 【第14回】 | 中曽根康弘内閣 |
| 【第15回】 | まとめ |